

いわてグラフ

IWATE GRAPH vol.796

岩手県広報誌 第796号

6

2026.6.1 発行(年4回)

私たちがえがく
いわての未来

IWATE PREFECTURAL GOVERNMENT 150th ANNIVERSARY 令和4年度～令和9年度
岩手県政150周年記念

撮影場所 / 盛岡市立仁王小学校(盛岡市)

いわてグラフ
WEB版も
ご覧ください



CONTENTS

特集1 令和8年度当初予算
県民一人ひとりの地方創生予算… 2

特集2 岩手が誇る3つの世界遺産… 7
『時代を旅する感動体験』

県民計画Topics!… 1
魅・知なる 夏の三陸旅に出かけよう… 6

いわてで、わたしらしく… 9

岩手県からのお知らせ… 10

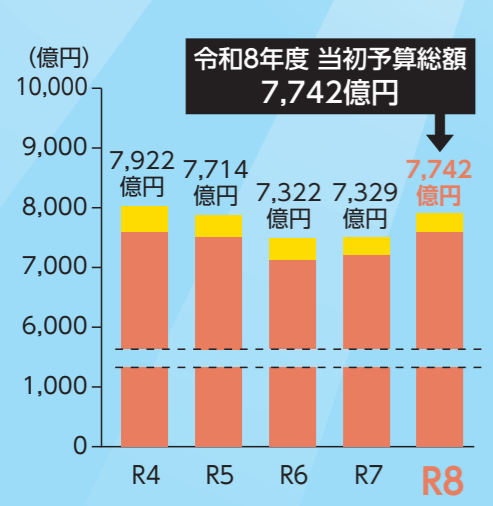
私たちいわて推し!!
読者アンケート&プレゼント… 11 [裏表紙]



特集
1

令和8年度の 県の予算を見てみよう

令和8年度
当初予算
県民一人ひとりの地方創生予算



令和8年度 当初予算総額 7,742億円

震災分 321億円
通常分 7,421億円
(うちコロナ対応・物価高騰分382億円)

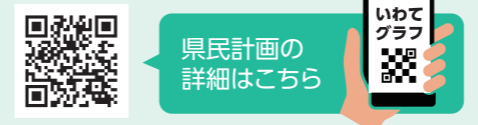
令和8年度当初予算の総額は、7,742億円。「4つの重点事項」に集中的に配分しました。

予算の規模

また、家計負担の軽減策や地域経済の活性化につながる観光需要の喚起策など、長引く物価高から県民の暮らしや仕事を守る取り組みを推進します。

令和8年度は、東日本大震災津波からの復興を着実に進め、「人口の自然減・社会減対策」、「GX（グリーン・トランスフォーメーション）の推進」、「DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進」、「安全・安心な地域づくり」の4つの重点事項を強力に推進するとともに、インバウンド観光や海外輸出の拡大などにより、世界に開かれた地方創生を推進します。

一人ひとりの幸福を守り育てる
「いわて県民計画」
(2019~2028)



計画 県民 Topics!

10の政策分野のうち
今回のテーマは
家族・子育て

暮らしに身近な取り組みなどを
紹介します

10の政策分野 健康・余暇 | 家族・子育て | 教育 | 居住環境・コミュニティ | 安全 | 仕事・収入 | 歴史・文化 | 自然環境 | 社会基盤 | 参画

**子育て家庭を応援！
いわて子育て応援の店**

県は、いわてで子育てをする家庭を地域全体で支えていくため、いわて子育て応援「i・ファミリー・サービス事業」を実施しています。

18歳未満のお子さんを連れただご家庭や妊娠中の方が、協賛店「いわて子育て応援の店」を利用すると、お店や企業が用意した子育て



いわての子
みんなであつくる
大きなゆりかご

地域全体で子育てを応援 子育てママ・パパに優しいお店がいろいろ！



いわて子育て応援の店ステッカー

に優しいさまざまなサービスが受けられます。

いわて子育て応援の店は、現在、県内に2000店舗以上あります。提供するサービスに応じて、「ここにこ店（割引や特典など）」と「ほのぼの店（優先席や授乳スペースの提供など）」があり、シンボルマーク入りのステッカーが目印です。なお、サービスを受けるための申請や登録は不要です。

協賛店募集中！

いわて子育て応援の店として、共に子育て家庭を応援していただけるお店や企業を募集しています。詳しくは、県のホームページをご確認ください。

いわて子育て応援の店
(i・ファミリー・サービス事業)

詳しくはこちら ▶

表紙 いわての未来をつくる若者たち

盛岡市立仁王小学校6年生の皆さん

盛岡市立仁王小学校は、1873年に県内初の小学校として開校しました。この地で、原敬、田中館愛橘、金田一京助といった先人が輩出されています。世界に誇る先人らを輩出した地で、学びの精神を受け継ぎ、未来を切り拓いていきます。

より詳しいお話を
WEB版で公開中



〈予算のポイントをチェック①〉

4つの重点事項を見てみよう

●復興の着実な推進とともに、人口の自然減・社会減対策を主軸とする4つの重点事項を強力に推進します。

人口の自然減・社会減対策

加速する人口減少への対策として、性別にかかわらず誰もが活躍できる環境づくりを進めながら、就職や結婚・子育て、移住などライフステージに応じた支援を強化します。

また、全国トップレベルの子育て支援を継続しながら、無痛分娩や産後ケアの実施体制、市町村と連携した移住支援金制度などを強化・拡充します。

新たな取り組み紹介

無痛分娩は、出産における身体的・精神的な負担を軽減させるという観点から、妊婦や妊娠を検討されている方にとって、選択肢の一つとなっています。県は、県内での無痛分娩の実施に向け、分娩取扱施設に対し、無痛分娩の開始に必要な研修費及び設備・医療機器等購入費を補助します。



GXの推進

※グリーン・トランスフォーメーション。化石燃料中心の経済や社会、産業構造をグリーンエネルギー中心にしていくこと

岩手の豊富な森林資源や再生可能エネルギーのポテンシャルなどの強みを生かしながら、地域経済と環境に好循環をもたらす持続可能な脱炭素社会を実現していきます。



新たな取り組み紹介

森林は、水資源を蓄え、育み、守る働きや山地災害の防止など、さまざまな公益的機能を持ち、私たちの生活に密接に関わっています。県は、森林の有する公益的機能の維持増進を図るため、公益的機能を増進する若齢林の整備や林野火災による被災木の除去、林野火災跡地への植栽などを支援します。



大船渡市林野火災における森林の被災状況



大船渡市林野火災により被災した被災木の除去

4つの重点事項

取り組みの一部をご紹介します！

令和8年度
予算関係資料



復興の推進

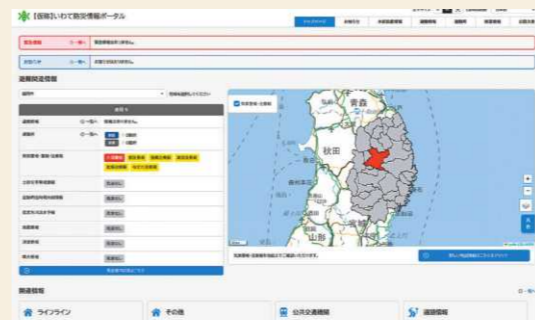
安全の確保、暮らしの再建、なりわいの再生、未来のための伝承・発信に基づく取り組みや、復興道路を生かした新たな産業振興、水産業の再生に係る取り組みなどを推進します。

安全・安心な地域づくり

あらゆるリスクに対応するために、「防災・減災を考慮することが当たり前となる地域社会の構築」「感染症・家畜伝染病への対応」「日常生活のリスク低減」の3つの取り組みを柱に、安全・安心な地域づくりを推進していきます。

新たな取り組み紹介

県は、国・県・市町村間の災害情報共有機能を強化し、県民に災害情報を適切に提供するため、新たな災害情報システムを整備します。新システムでは、災害情報の地図表示機能が強化され、県のホームページ（いわて防災情報ポータル）を通じて、県民の皆さんにこれまで以上に防災情報を分かりやすくお伝えすることができます。



※画像はイメージです



※主な減額理由：
河川改修に要する経費等の減

DXの推進

※デジタルトランスフォーメーション。ICT（情報通信技術）の浸透により、生活をよりよい方向に変化させること

全ての県民がデジタル化の恩恵を享受できるように、デジタル社会の実現に向けて、市町村を支援しながら、行政、産業、社会、暮らしといったあらゆる分野のDXを推進します。



新たな取り組み紹介

農業に携わる人の高齢化や人口減少が進む中、ロボット技術やICT（情報通信技術）を活用して超省力・高品質な生産を実現する「スマート農業」が注目されています。県は、県内におけるスマート農業技術の普及拡大を図るため、革新技術の開発・実証やデジタル人材の育成などを実施します。



自動操舵トラクタを利用した機械除草



ドローンによる可変施肥（作物の生育や土壌などのばらつきに合わせて、農地の状況に応じた肥料散布を行うもの）

〈予算のポイントをチェック②〉

県が強化する2つの取り組みを見てみよう

●4つの重点事項を主軸としながら、次の2つの取り組みを強化します。

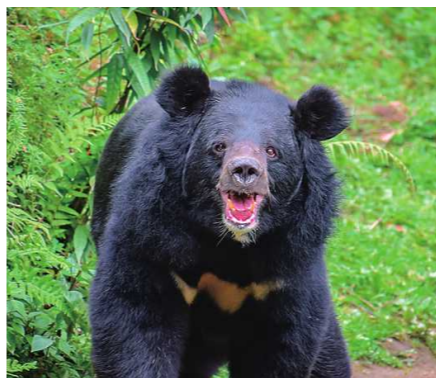
1 世界に開かれた地方創生

岩手の強みや魅力を生かした海外輸出やインバウンド拡大関連事業を実施します。また、スタートアップ支援のための国際会議の開催を通じて、世界に開かれたイノベーション拠点としての岩手の可能性を国内外に示し、県内スタートアップなどの成長機会の創出を図ります。



2 県民の暮らしを守り、共に支え合ういわて

長引く物価高から県民一人ひとりの暮らしや仕事を守るため、これまでの取り組みに加え、新たに家計負担の軽減策や地域経済の活性化につながる観光需要の喚起策などを実施します。また、ツキノワグマ被害などの喫緊の課題への対策など、安全・安心な地域づくりを推進する取り組みを強化します。

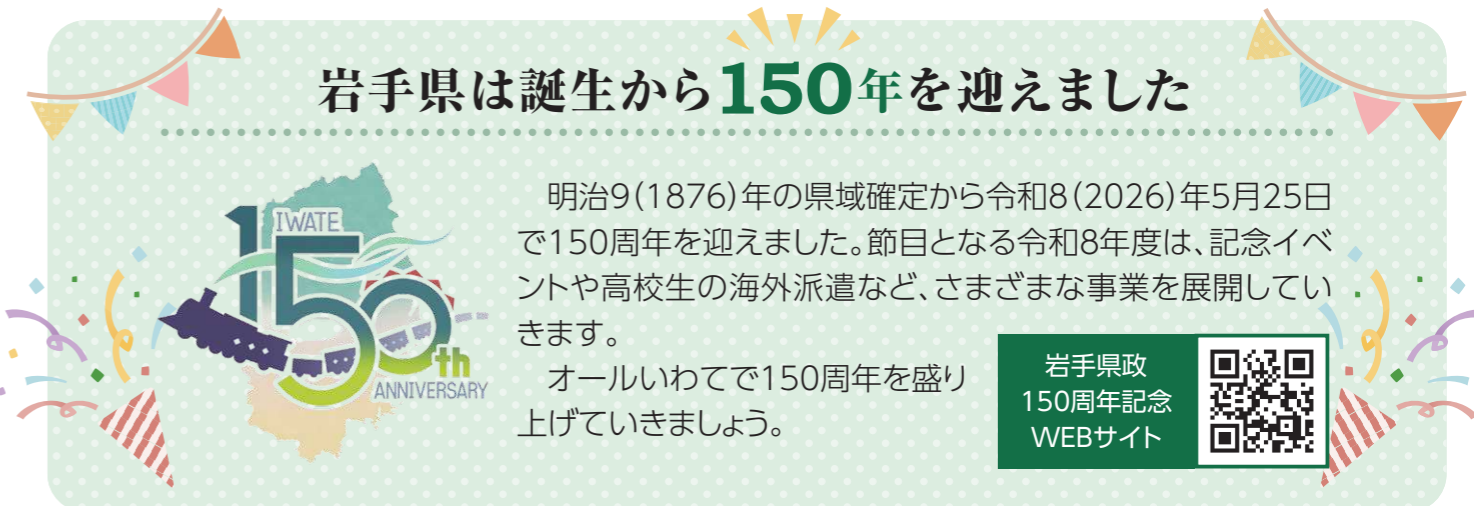


岩手県は誕生から150年を迎えました

明治9(1876)年の県域確定から令和8(2026)年5月25日で150周年を迎えました。節目となる令和8年度は、記念イベントや高校生の海外派遣など、さまざまな事業を展開していきます。

オールいわてで150周年を盛り上げていきましょう。

岩手県政
150周年記念
WEBサイト



海の青、山の緑、

そして祭りの色彩豊かな

気仙地区の夏



夏の三陸旅に出かけよう

魅^み知^ちなる体験

住田町

大船渡市

陸前高田市



三陸を味わう

陸前高田市 陸前高田の七夕まつり

毎年8月7日(旧暦の七夕)に2つの七夕まつりが行われます。高田町の「うごく七夕まつり」は山車の華やかさを競い、「気仙町けんか七夕まつり」は山車をぶつけ合う勇壮な祭りです。

◎陸前高田市観光物産協会 0192-54-5011



陸前高田市
観光サイト

祭りを楽しむ



大船渡市 大船渡さんまら〜めん

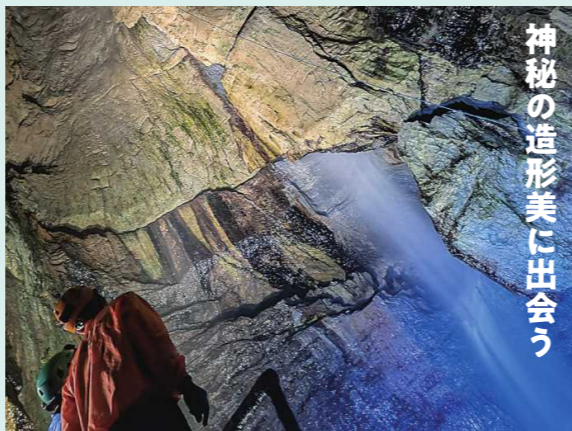
大船渡産のサンマを使ったご当地ラーメン。碓石海岸レストハウスの「さんまら〜めん」は、みりん干しを丸ごと使い、ほぐしながら楽しめます。

◎碓石海岸レストハウス
0192-29-2121



大船渡観光サイト

神秘の造形美に出会う



住田町 滝観洞

何億年もの歳月をかけ、今なお成長を続ける鍾乳洞「滝観洞」。落差29mの「天の岩戸の滝」は、大理石の裂け目から一直線に流れ落ちる国内最大級の洞窟内滝。レベルに合わせて3つの洞内探検コースがあります

◎滝観洞観光センター 0192-48-2756



滝観洞サイト

陸前高田市 スノーピーク 陸前高田キャンプフィールド

広田湾を望む高台にあるキャンプ場。約6.8万坪の広大な敷地内には、車を横付けできる区画サイトやキャビン(簡易宿泊棟)などがあり、海と山の自然に包まれ、穏やかな時間を楽しめます。

◎Snow Peak
陸前高田キャンプ
フィールド
0192-22-9477



スノーピーク
サイト

自然の中で過ごす



あなたの「推し」三陸を教えてください！
「#推し三陸キャンペーン」

三陸エリアの「夏のおススメ」写真に「夏の推し三陸キャンペーン」のハッシュタグを付けて、Instagramに投稿して、ご応募ください。詳しくは、キャンペーン専用サイトからご確認ください。なお、応募には岩手県広聴広報課Instagramのフォローが必要です。



キャンペーン専用サイト▲

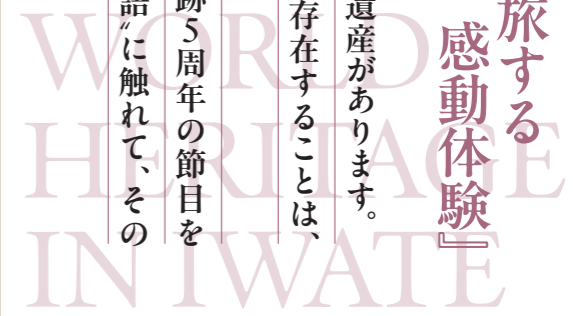
応募いただいた方の中から抽選で3名様に宮古市の名物「照りうどん2本セット」をプレゼント!



岩手が誇る3つの世界遺産

『時代を旅する 感動体験』

岩手には御所野遺跡、平泉、橋野鉄鉱山の3つの世界文化遺産があります。縄文、平安、江戸、明治と異なる時代の世界文化遺産が存在することは、岩手の歴史と文化の奥深さを象徴しています。2026年は世界遺産登録から平泉15周年、御所野遺跡5周年の節目を迎えます。この機会に現地を訪れ、世界遺産の「時代の物語」に触れて、その価値や魅力を次世代へと伝え継いでいきましょう。



縄文時代

弥生時代

古墳時代

飛鳥時代

奈良時代

鎌倉時代

室町時代

安土・桃山時代

江戸時代

明治時代

大正時代

昭和時代

平成時代

令和時代

世界遺産とは 地球上の素晴らしい自然や歴史的な建物など、世界の人々が守り未来へ伝えていかなくてはならない人類共通の宝物です。

縄文時代

御所野遺跡

〔一戸町〕



〔北海道・北東北の縄文遺跡群〕 2021年登録

御所野遺跡は、約4000〜4500年前に営まれた大規模な定住集落跡で、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産の一つとして2021年に登録されました。配石遺構や祭祀に使われた盛土、竪穴住居跡などが良好な状態で残されており、火を使った祭祀の跡や出土した土偶からは、当時の精神文化の豊かさもうかがえます。

御所野遺跡 世界遺産登録5周年 関連イベント(予定)

- 夏/7月25日(土)~7月26日(日) 「世界遺産登録5周年記念 ごしよの縄文感謝祭！」
- 秋/10月17日(土)~10月25日(日) 「ごしよの縄文WEEK2026」
- 冬/2月20日(土) 「ごしよのとっておきパーティ2026」

縄文時代の人々が、狩猟、採集、漁労によって自然と共生しながら暮らしていた姿を伝える貴重な遺産です。

平安時代

平泉


〔平泉町〕



〔平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-〕2011年登録

平泉は、2011年に「平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」として登録されました。平安時代後期に奥州藤原氏・初代清衡が造営した中尊寺をはじめとする寺院などによって構成される遺産です。中尊寺、毛越寺、無量光院跡、観自在王院跡、金鶏山の5つが構成資産で、12世紀に奥州藤原氏が仏教の浄土思想

に基づき、理想世界の具現化を目指して創造したものです。平泉の浄土思想を反映した寺院・庭園の造営は、他に類を見ない独自性を持ち、平和への願いが込められています。



平泉
世界遺産登録15周年 関連イベント情報は こちら

江戸(明治)時代

橋野鉄鉱山

〔釜石市〕

〔明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業〕2015年登録

橋野鉄鉱山は、2015年に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の一つとして登録された、明治時代の産業革命を支えた製鉄業の姿を伝える遺産です。

1858年に建設された現存する日本最古の洋式高炉跡を中心に、鉄鉱石の採掘場や運搬路などが保存されています。橋野鉄鉱山は、幕末から明治にかけての製鉄技術の発展を支え、日本の近代化に大きく貢献した場所であり、現代の製鉄業の礎ともいえる存在です。

岩手県広報誌「いわてグラフ」広告募集!

岩手県内の全世帯に配布される県の広報誌で 会社やお店のPRをしませんか?



広報誌概要 年4回発行、A4判フルカラー、県内全世帯配布(518,500部/回)

募集概要 ●募集枠/令和8年12月号 2枠、令和9年3月号 1枠 ●掲載場所及び大きさ/中面の記事下段 1枠当たり左右185mm×天地50mm(A4 約5分の1ページ) ●申込方法/岩手県ホームページからお申し込みください



県に関する情報収集のツールとして、多くの県民に親しまれています!

岩手県ホームページ



※【お問い合わせ】岩手県政策企画部広聴広報課 電話:019-629-5283 電子メール:kouhou@pref.iwate.jp

岩手県からののお知らせ

岩手県広報誌
いわてグラフを
リニューアルしました

県民一人ひとりが、県政とのつながりを感じることができる「いわてグラフ」を目指して、2026年6月号から誌面構成やデザインなどの見直しを行いました。より多くの県民の皆さんに、そして若い世代の皆さんにも県政に気軽に触れていただけるよう、親しみやすく魅力的な広報誌づくりを進めていきます。

ご存じですか？

本のとびら ～ようこそ文学の国いわてへ～

岩手オリジナル教材「本のとびら」では、岩手ゆかりの15人の作家や著名人が読書にまつわるエピソードを紹介しています。本教材は、小学5・6年生を対象に、岩手から多くの作家が生まれていることを知ることで、郷土への理解を深め、読書への関心を持ってもらうために制作しました。



▲詳細は特設サイトをご覧ください

岩手ゆかりの方の“ことば”に触れて、本から広がる世界を探してみませんか。

◎県庁文化振興課 019-629-6286

「Bears(ベアーズ)アプリ」のご案内

ツキノワグマの出没情報を登録、閲覧できるアプリ「Bears(ベアーズ)」を導入しました。岩手県公式LINEを通じて、目撃位置や頭数を登録、閲覧することができます。また、情報を受け取りたい地域を登録することで、登録した地域でクマが出没した場合に、岩手県公式LINEから通知を受け取ることができます。なお、緊急の通報が必要な場合は、お住まいの市町村または警察に連絡してください。



▲詳細はホームページをご覧ください

◎県庁自然保護課 019-629-5371

企業向け外国人材受け入れ相談窓口のご案内

県内の企業を対象とした外国人材の受け入れに関する電話相談窓口を開設しました。「自社でも外国人材を受け入れてみたいが、何から始めたらよいか分からない」や「自社の業務内容に合致する在留資格が分からない」など、外国人材の採用や定着に関する相談に対応します。



▲詳細はホームページをご覧ください

■相談受付電話番号/022-398-7728

◎県庁定住推進・雇用労働室 019-629-5581

「特殊詐欺対策アプリ」のご案内

自動音声ガイダンスを悪用した詐欺電話や、ニセ警察官がビデオ通話でお金を要求するなど、特殊詐欺の被害が急増しています。特殊詐欺の電話を直接受けないためには、犯人が使う国際電話番号などをアプリでブロックする対策が有効です。公式アプリストアから無料の警察庁推奨アプリをダウンロードして、あなたと家族を特殊詐欺から守りましょう。



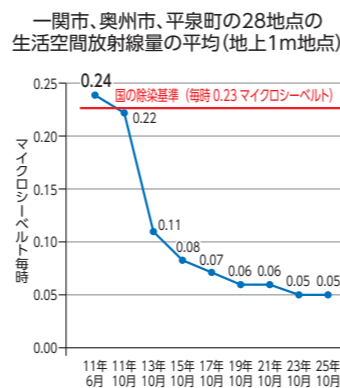
▲詳細はホームページをご覧ください

◎岩手県警察本部生活安全企画課
019-653-0110

放射線影響対策のお知らせ

生活空間の放射線量

県は、2011年6月から県内の公園や庁舎など55地点の放射線量(空間線量率)を定期的に測定しています。放射線量の平均は2011年10月測定以降(全ての地点の放射線量は2013年6月測定以降)、全ての地点で国の除染基準(毎時0.23マイクロシーベルト)を下回っています。汚染状況重点調査地域(一関市、奥州市、平泉町)でも、2011年6月と比べて近年は概ね2割まで低減しています。



◎【生活空間の放射線量】県庁環境保全課 019-629-5356
◎【全般】県庁復興危機管理室 019-629-6924

いわてグラフのWEB版では、さまざまな情報を公開中!

いわてグラフ WEBは はこちら

ご意見・ご提言はこちら

- 手紙・はがき 〒020-8570(住所不要)岩手県広聴広報課
- 電子メール koucho@pref.iwate.jp
- 電話 019-629-5110
- 受付時間 8:30~17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)
- ファクシミリ 019-651-4865[24時間受付]



県政テレビ番組 いわて! わんこ広報室

- テレビ岩手 月曜日 18:54~19:00 (再放送) 土曜日 21:54~22:00
 - 岩手めんこいテレビ 土曜日 11:45~11:50
- ※都合により放送時間が変更になることがあります。

さまざまなメディアで岩手の情報発信中!

県の全ての情報はこちら

岩手県 ホームページ

お友達登録で、県の最新情報をお届け

岩手県公式 LINE

県政情報、防災情報、岩手の魅力発信中

岩手県 広聴広報課X

東日本大震災津波伝承館の情報を発信中

いわて TSUNAMI メモリアル

いわてで、わたしらしく

いわての農林水産業や建設業、製造業などさまざまな分野で今、女性が活躍しています。

インフラで生活を支え 地元へ恩返ししたい

建設業

小松原未来さん

河川維持工事現場代理人
小松原未来さん
進栄建設株式会社工務部主任。建設業界歴12年。花巻北上地区の河川維持工事現場代理人を務める傍ら、会社のインスタグラム「ねこ所長と現場」で保護猫の「所長」との日常や工事現場の様子、休日の過ごし方などを発信中。

私は高校を卒業後、建設業界に入りましたが、はじめは現場事務として働いていました。町の安全を維持するため、直接、町を整備できる技術職の仕事に魅力を感じ、技術者へ転向しました。

現場は、男性が多いイメージですが、女性にとっても働きやすい環境の整備が進んでいます。私の現場では「快適トイレ」のほか女子更衣室も設置しています。週休2日制で残業も少なく、仕事とプライベートのメリハリをつけることもできます。私は働きながら、国家資格を取得することができました。

今では現場の責任を担う現場代理人として河川維持工事に携わっています。私の現場でのモットーは「仲良く和気藹々」。技術者や現場作業員、事務員など、みんなが仲良く声掛けできる職場づくりに努めています。

また、会社では測量や現場写真の撮影機材など、最先端のICT(情報通信技術)を取り入れています。最新機器を使うことで、女性などこれまで現場に関わりづらかった人たちにも活躍のチャンスを広げることができますし、自分自身も技術者としての幅が広がり、やりがいを感じます。

工事現場の施工管理から事務・企画、測量、設計など多彩な役割で地域のインフラを支えている建設業。私は技術者として、これからも自分が育った町に恩返ししていきたいと思っています。

キラリPoint!



休日は岩手県内の御朱印巡りなどをしています。写真は宮沢賢治ゆかりの身照寺にて。

はたらく 女性を 応援!

いわて女性の活躍応援サイト

岩手の女性の就業や活躍を支援するWEBサイト。女性のキャリア形成、働きやすい職場環境づくりに役立つセミナーや、女性活躍認定企業の取り組みを紹介しています。

けんせつ小町部会

建設業界への女性の就業促進を目的に設置されました。女性従事者の交流の場づくりやスキルアップのための研修会の開催など、女性が働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

私たちが いわて推し!!

自分が好きな「人・モノ・場所」を

応援する「推し活」。

今、いわて推しの若者たちが増えています。

洋野町

ローカルコミュニケーター 千葉桃子さん

奥州市生まれ、埼玉県さいたま市育ち。大学で東北各地の地域活性化や関係人口を研究し、新卒で洋野町へ移住。現在、ローカルコミュニケーターとして地域づくりに携わっている。



洋野町の空・海・水平線 その原風景に導かれ 心も体も動き出す

埼玉で育った千葉さんにとって、岩手は幼い頃から帰省で何度も訪れてきた、祖父母がいる親しみのある場所。中学時代に夢中で見たドラマ「あまちゃん」の影響もあり、その思いはぐんぐん深まっていきました。大学ではまちづくりを学び、「いつか地方で働きたい」という気持ちが膨らむ中で、まちづくりに関われる仕事を探しているときに洋野町と出会います。同町での企業インターンを経て、2021年に岩手へ移住という一歩を踏み出しました。

現在はフリーランスのローカルコミュニケーターとして、市民大学の運営や高校生の探究学習支援、インターンのコーディネートなど、地域との関わりを多方面へ広がっています。

「私の推しは洋野町宿戸地区の海。この風景が移住の原点です」と千葉さん。洋野町で出会ったその海は、今も心の支え。「外から来た人を自然に受け入れる空気や人の温かさが、働きやすさや挑戦しやすさにつながっています」と



ローカルコミュニケーターとして地域のさまざまなプロジェクト運営に取り組んでいる千葉さん。

話します。

「洋野町には、自分の挑戦を応援してくれる人が多く、自分の好きや得意を生かせる場所があります。岩手に関心を持つ人には、まずは自分らしい関わり方で地域に触れてみてほしいです」と話す千葉さん。そんな思いを胸に、これからの地域を担う次世代の背中をそとと押せるよう、日々挑戦を続けています。

インタビュー動画をサイトで公開中

いわて暮らし移住定住ポータルサイト

イーハトー部に入ろう!

一人ひとりそれぞれの岩手での暮らし方を、「部活動」の楽しさに見立てた「イーハトー部」。サイト内では、イベント情報や地域の最新情報、Uターン、移住情報をお届けしています。

いわてとつながるプレゼント!

アンケートにお答えいただいた皆さまの中から抽選で**合計8名様**にプレゼント!

A 4名様

令和7年産
岩手県産キューブ米2種
「金色の風」、「銀河のしずく」各450g
◎株式会社純情米いわて
019-638-0120

「金色の風」、「銀河のしずく」の2種。食べ比べにちょうどいい450g(約3合)です。

B 4名様

ひろの赤鶏カレー
1人前・170g/2個
◎一般社団法人大野ふるさと公社
0194-77-3202

洋野町でのみ飼育されている赤鶏(純和鶏)の手羽元が1本入ったカレー。洋野町産のはちみつを使用しています。

- 記事は分かりやすかったですか?(番号で回答)
①非常に分かりやすい ②分かりやすい ③普通 ④分かりにくい ⑤非常に分かりにくい
※④または⑤の方は、どのような点が分かりにくかったかお書きください。
- 今回の企画で興味を持ったものは何ですか?
- 県政で興味があるものは何ですか?(番号で回答)
①産業 ②医療・福祉 ③防災 ④教育・文化 ⑤環境 ⑥社会資本整備 ⑦その他(関心のあるものをお書きください)
- 本誌へのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

住所・氏名・年齢・職業・電話番号・ご希望の商品のアルファベット記号(A・Bいずれか)をお書きの上、ハガキ、FAX、電子メール、または下の二次元コードを読み込んで、応募フォームからご応募ください。■送り先/◎ハガキ:〒020-8570(住所不要)岩手県広聴広報課「いわてグラフ6月号・読者アンケート」係 ◎FAX:019-651-4865 ◎電子メール:kouhou@pref.iwate.jp ■応募締切/2026年7月10日(金)必着 ■当選発表/商品の発送(8月末頃)をもって代えさせていただきます。



※ご記入いただいた個人情報やアンケートの内容につきましては、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計、プレゼントの発送にのみ利用させていただきます。